

単元の目標

○ 筆者の工夫した情景描写や説明から、筆者の心の動きを読みとり、作品を味わうことができる。

単元の評価基準

話す・聞く力	書く力	読む力	言語の力
優れた情景描写から筆者の心の動きを読み取り仲間に伝えることができる。	学んだことを生かして、大イチイを見学した時感じたことを書くことができる。	優れた情景描写から筆者の心の動きを読み取り、味わいながら読むことができる。	筆者の工夫した表現を味わうことができる。

ねらい	学習活動	評価規準・評価方法	指導・援助
1 「森へ」の全文を読み単元を貫く課題を知って、学習していく目的を知ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文を通して読む <li style="border: 1px solid black; padding: 2px;">筆者と一緒に森を歩いているつもりで「森へ」を読んでみよう。 ○ 場面を確認する。 ○ 貫く課題を設定する 	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>「森へ」について、学習意欲をもつことができている。</p> <p>(発言、ノート)</p>	自分達の体験を想起させて、作品に親しみをもたせながら、範読を聞く。
星野さんになって、一之宮町の大イチイの森の体験文を書こう。			
2 「森へ」の全文を読み、分からない言葉を調べ読み取る手がかりにしていることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li style="border: 1px solid black; padding: 2px;">分からない言葉を調べ、読み取る手がかりにしよう。 ○ 全文を読む ○ 分からない言葉を調べる。 ○ 漢字を確認する。 	<p>【言葉に対する知識・理解・技能】</p> <p>読みとるための手がかりにしていこうと意欲的に調べている。</p> <p>(態度、ノート)</p>	でてくる動物や、植物も図鑑や、百科事典で調べる。
3 五感を働かせた叙述から、静かな森へ近づいていく筆者の静かな期待と少しの緊張感を読みとることができる。	<p>第一、二場面</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 自然描写の表し方や心の動きの表し方素敵だな思うところを見つけよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○五感に関わる表現や、比喩表現に着目させる。 	<p>さまざまな音の表現により、静けさが強調されていることに気づき、筆者の緊張感を読みとっている。</p> <p>(発表、ノート)</p>	五感に関わる表現や擬声語、擬態語、擬人化によって筆者の思いが表現されていることに気付かせる。

	ねらい	学習活動	評価規準・評価方法	指導・援助
4	薄気味悪い様子やクマの足跡を見て森に対して恐怖心を抱きながらおそるおそる進んでいく心の動きを読みとることができる。	<p>第三場面</p> <p>「ぼくがこの森に入るのをこばんでいるようでした」に着目して筆者の心の動きを読みふかめよう。</p> <p>○筆者の森に対する思いをノートにまとめる。</p>	薄気味悪い様子やクマの足跡を見て森に対して恐怖心を抱きながらおそるおそる進んでいく筆者の心の動きを読みとっている。	写真と文章から、木のかおりや土のにおいなど、嗅覚も働かせて様子を想像させ、筆者の気持ちにせまるようにする。
5	森全体が一つの生き物のように呼吸をしているように感じ取り少しずつ心が落ち着いて来ている筆者の心の動きを読みとることができる。	<p>第四場面</p> <p>「森は少しずつぼくに優しくなってくるようでした」に着目して筆者の心の動きを読みふかめよう。</p> <p>○筆者の森に対する思いをノートにまとめる。</p>	森全体が一つの生き物のように呼吸をしているように感じ取り少しずつ心が落ち着いて来ている筆者の心情を読みとっている。 (発言、ノート)	非常に長い時であることを表す表現に着目させておく。
6	サケやクマの生き生きした森の様子から森の力強さを感じながら、命のつながりを感じている筆者の心の動きを読みとることができる。	<p>第五場面</p> <p>「この森の川はサケを食べに来るクマの世界でした」に着目して筆者の心の動きを読みふかめよう。</p> <p>○筆者の森に対する思いをノートにまとめる。</p>	サケやクマの生き生きした森の様子から森の力強さを感じながら命のつながりを感じる筆者の心の動きを読みとっている。 (発言、ノート)	森に対する筆者の心情の変化が分かりやすいように掲示をしておく。
7 本時	恐怖心が消え、森全体が命を受け継ぎ合っていることに感動している筆者の心の動きを読みとることができる。	<p>第六場面</p> <p>「そっと幹をなでてみました」に着目して筆者の心の動きを読みふかめよう。</p> <p>○筆者の森に対する思いをノートにまとめる。</p>	恐怖心が消え、森全体が命を受け継ぎ合っていることに感動する筆者の心の動きを読みとっている。 (発言、ノート)	写真を掲示して、筆者の思いに迫りやすいようにする。

	ねらい	学習活動	評価規準・評価方法	指導・援助
8	<p>大イチイを案内して下さった山下さんに、「森へ」の学習から学んだ自然描写の素晴らしい表し方や、心の動きの表し方を生かして大イチイの森を探検して感じたことが伝わるような体験文を書くことができる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>星野さんになって、一之宮町の大イチイの森の体験文を書こう。</p> </div> <p>○「森へ」の学習から学んだ自然描写の素晴らしい表し方や、心の動きの表し方を思い出す。 ○体験文を書いていく。</p>	<p>「森へ」の学習から学んだ自然描写の素晴らしい表し方や、心の動きの表し方を生かして書いている。 (ノート)</p>	<p>「森へ」の学習から学んだ自然描写の素晴らしい表し方や、心の動きの表し方を掲示しておく。</p>